



2022

ソフィアだより

1がつ

あけましておめでとうございます。

本年もどうぞよろしくおねがいいたします。



「ぼく、明日は、プログラミング行くから、キッズ（学童クラス）は休むでー」「プログラミング？ 習いに行くの？」「うん、おもしろい」小学校3年生の子どもとの会話です。

2020年度から小学校でプログラミング教育が必須となり、2021年には、中学校でも必須化が発表されました。まだまだ実際には、プログラミング教育が具体的に現場での実践がすすむのにはもう少し時間がかかるようにも思います。AI化が進む社会でロボットにつかわれるのではなくロボットを創り出す創造的の思考が求められていきます。プログラミング教育=STEAM教育ともいうそうですが、科学の（Science）科学技術の（Technology）工学の（Engineering）算数の（Math）に加えて、STEAMの中のAが日本の教育にはとても重要なポジションだということが言われています。Aは、アートいわゆる芸術です。文化、生活、経済、法律、政治、倫理、さまざまな考えをもちあわせ発信する力です。このプログラミング教育の根幹には、自ら問いかけ、ワクワクして新しいものを創り出す力がいます。自分の言葉で、自分のアイデアで、創り出していく力を育てていけることが大事です。と考えると、とてもデジタルな教育法を求められる基本には、アナログで育てた力の基礎があるということです。あきらめずに新しいことに挑戦する、新しいこと学びをワクワクする思いに変えていく力、まさしくソフィア時代に学ぶものです。「プログラミング教育」の華々しい教育の根幹には、人としての「心」の教育があることを忘れずに、乳幼児期の子ども達と向き合い保育していきたいとあらためて年頭に思います。

ソフィア東生駒こども園
園長 中畑 直実